

乳がん検診に伴う痛みや不快感に関するインターネット調査

1. 研究の対象

本研究では、株式会社マクロミルのパネル登録者である一般市民の方を対象としてインターネット調査を用います。研究の対象者は、下記 1) ～ 3) 全てに該当し、本研究の参加に同意した方とします。

- 1) 30～79 歳の女性
- 2) 3 年以内にマンモグラフィ検査を受けたことがある人
- 3) 乳がんの既往歴が無い人

2. 研究目的・方法

日本の乳がん検診では、マンモグラフィ検査が推奨されていますが、マンモグラフィ検査による痛みや不快感を避けるために、有効性が明らかになっていない推奨外の検診（乳房超音波検査、MRI 検査）を希望する方がいます。

これまでは、国内におけるマンモグラフィ検査の痛みや不快感の程度に関する大規模調査はほとんど行われてきませんでした。また、痛み・不快感・不安・恥ずかしさが次の乳がん検診受診に与える影響も分かっていません。

この研究は、乳がん検診におけるマンモグラフィ検査と乳房超音波検査による痛み・不快感・不安・恥ずかしさの程度と、それらが乳がん検診の受診継続に与える影響を調査します。痛み・不快感・不安・恥ずかしさに影響を与える要因をあわせて調べ、乳がん検診における痛み・不快感の軽減や、受診支援のための対策を検討することを目的とします。

3 年以内にマンモグラフィ検査を受けたことがある 30～79 歳の女性で、乳がんを罹ったことがない方約 3000 人を対象に、インターネット調査（無記名、選択式）を行い、解析します。

研究実施期間は、研究許可日～2028 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本属性（学歴、体型など）、女性の健康、病歴、乳がん検診受診歴、マンモグラフィ検査の痛み・不快感などの程度、超音波検査の痛み・不快感などの程度、医療機関での体験、痛みの特性、痛みや不安の情報源・発信先、次回検診への考え、主観的健康観など

4. 試料・情報の授受

情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。具体的には、インターネット調査会社ホームページの該当ページより、研究者が個人識別 ID で匿名化された解析用データセット、CSV データをダウンロードし、厳重に保管します。

5. 研究組織・研究責任者

研究責任者：

国立がん研究センター 細野 覚代

研究者：

国立がん研究センター 田中 旬子

同上 太田 美幸

同上 中山 富雄

同上 小林 望

情報の提供元機関及びその長：

株式会社マクロミル 代表取締役社長 CEO 佐々木徹

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、委託会社の窓口を通じてお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。ただし、既に研究結果を公表した場合やデータセットから取り除くことが困難な場合もありますのでご了承ください。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方の研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

研究に関する照会先・連絡先（研究事務局）：

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部

担当者：田中 旬子、太田 美幸

研究責任者：細野 覚代

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号：03-3547-5201（内線 3372、3315）

インターネット調査業務委託先：

株式会社マクロミル

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 11F

マクロミルモニタサポート窓口

<https://monitor.macromill.com/airs/exec/inquiryInputAction.do>